

広報

しょうぼう さつま

119

vol.10

平成 21 年 10 月 発行

編集・発行

さつま町消防本部

鹿児島県薩摩郡さつま町時吉 366

Tel 0996-52-0119

Fax 0996-53-0119

Web <http://www.satsuma-net.jp>

mail [shobo@satsuma-net.jp](mailto:shobo@satsuma-net.jp)



職場



体験



主要内容

- 1 ページ……秋の全国火災予防運動  
住宅用火災警報器の設置推進
- 2 ページ……我が家の火気取扱責任者はお母さん
- 3 ページ……ハイブリッド車研修, 救急のへり搬送
- 4 ページ……わがまちの消防団(山崎・二渡分団)  
水難救助合同訓練
- 5 ページ……消防救助全国大会出場  
消防ほつと写真館

平成21年度全国統一防火標語

消えるまで  
ゆっくり火の元  
にらめっ子

# 秋の火災予防運動

今年の秋の全国火災予防運動を「消えるまで ゆっくり火の元 ならめっ子」をスローガンに、11月9日から15日までの1週間実施します。さつま町内では10月1日現在、18件の火災が発生しています。また死者こそ発生していないものの、昨年より5人も多い6人の方が火災によりケガをされています。

これから空気が乾燥し、また暖房器具の使用が始まるなど、非常に火災が発生しやすい季節がやってきます。火災予防は、住民の皆さん一人ひとりの防火への心がけが非常に大切です。「我が家から火事は絶対に出さない」との気概を常に持って、防火にご協力ください。

## イベント

- 住宅用火災警報器の更なる設置推進を重点課題として、火災予防運動期間中や、その前後の休日にさまざまなイベントを行います。
- ☆ 11月1日 防火パレード（宮之城屋地・虎居市街地）
  - ☆ 11月8日 一日消防署長 J A 農業祭 防火PR
  - ☆ 11月15日 消防フェスタ（さつまフェスタ会場にて）



つけた？  
住宅用火災警報器

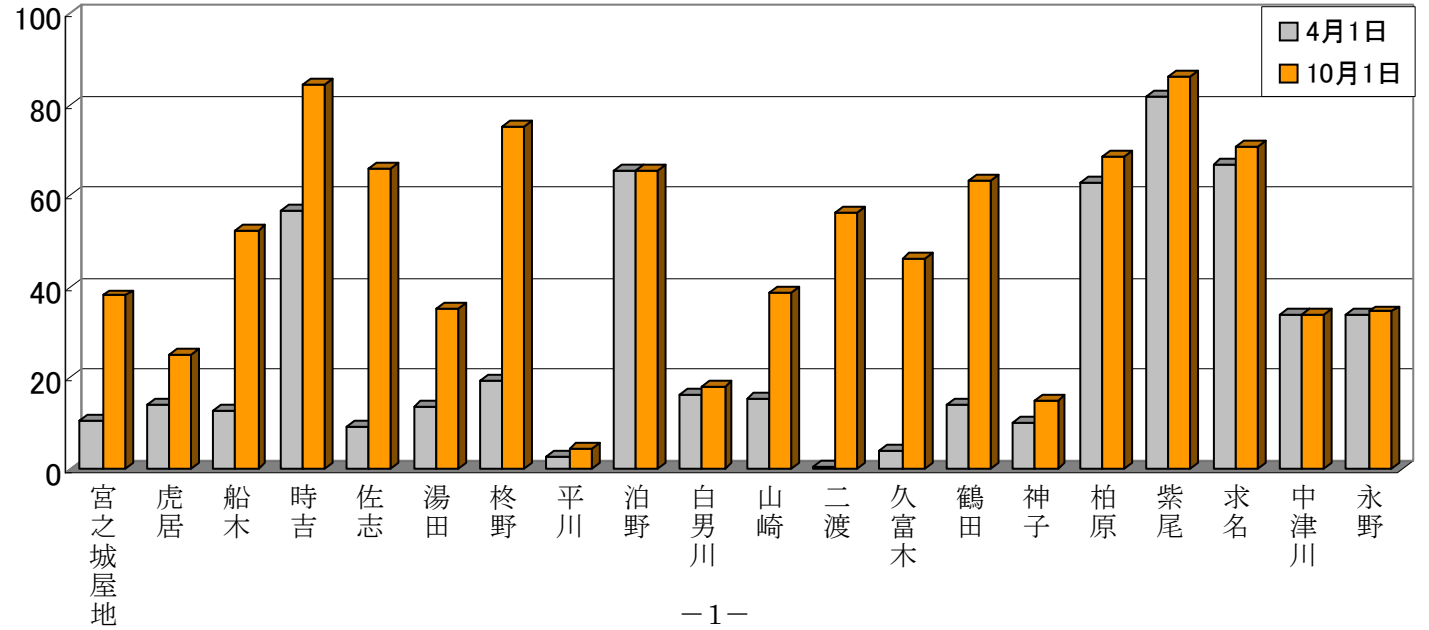
住宅用火災警報器は、火災発生を早期に知り、逃げ遅れによる死者をなくすことを目的として、全世帯への設置が義務付けられています。火災から家族の大切な命を守るために、早めの設置をぜひお願いいたします。

## 設置推進地区別 担当制の成果

現在、消防署員を各地区に割り当て、住宅用火災警報器の設置推進を図る「地区別担当制」を導入しています。

この結果、4月1日現在、23%だった充足率が、10月1日現在、51%にまで大幅に改善されています。その一方で、地域によって大きなばらつきが見られ、この改善がこれからの大きな課題です。これからも全戸設置に向けて推進を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 住宅用火災警報器の校区別充足率の推移



## 火気取扱責任者は

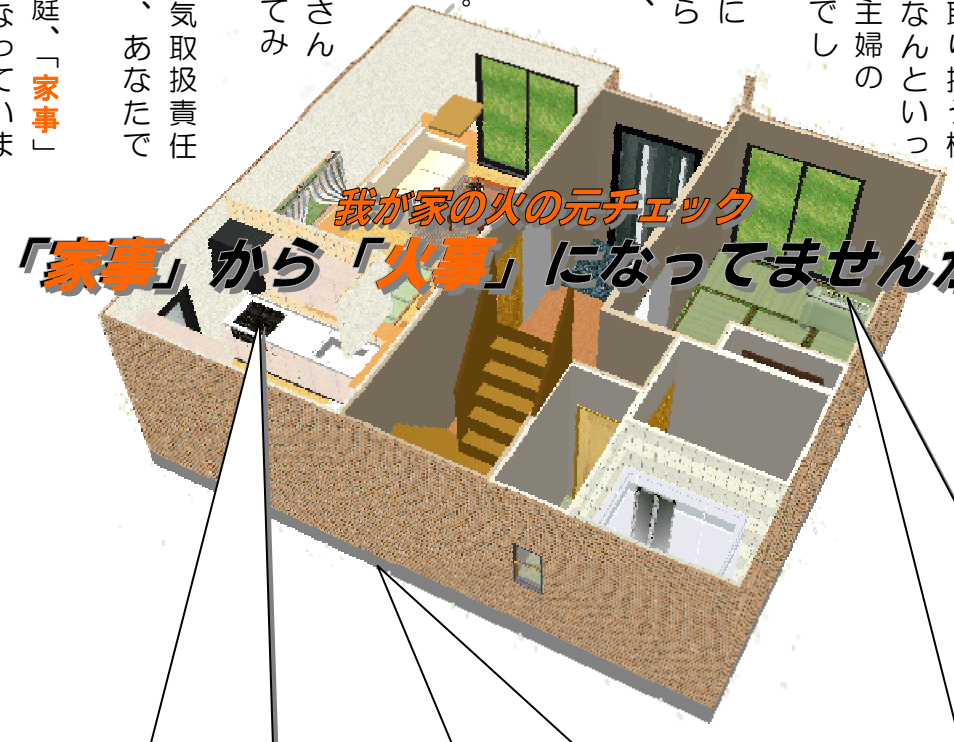
我が家の  
**お母さん**

ご家庭で火を取り扱う機会が多いのは、なんといつでも家事を行う主婦の皆さんではないでしょうか？

私たちの生活に火はなくてはならないものですが、その反面色々な火災危険が家中に潜んでいることになりました。そこで、家庭に潜む火災の危険を「お母さん目線」で確認してみよう。

我が家の「火気取扱責任者」はお母さん、あなたです。

あなたのご家庭、「家事」から「火事」になっていませんか？



我が家の火の元チェック

「家事」から「火事」になってませんか？

## ストーブ・洗濯物の乾燥＝火事

洗濯物は、最初は濡れて重いので安定していますが、乾いてくるに従って軽くなり、ストーブの熱風や、熱による上昇気流などの風の動きにより、洗濯物が揺れて落下し火事に



なることがあります。ストーブでの洗濯物の乾燥は絶対にやめましょう。洗濯物の乾き具合と火災危険・・・お母さん、どちらを「選択」しますか？

## 家の周りの可燃物・時間外のゴミ出し＝火事

全国の出火原因の第一位は「放火」なのをご存知でしょうか？家の周りに燃えやすい物を置きっぱなしにしておくと、放火犯の格好の目標となってしまう。



また、夜など時間外のゴミ出しも、放火されやすい大きな要因となります。お母さん、家の周りの整理整頓とゴミ出しのルール、きちんと守られていますか？

## てんぷら鍋・その場を離れる＝火事

一般に家庭で使用する程度の油を家庭用ガスコンロで加熱すると、約5分で適温に達し、そのまま加熱すると、20〜30分で自然に火が付く発火点に達するといわれています。



いったんコンロに火をつけたら、絶対にその場を離れない・離れたときは火を消す習慣をつけてください。お母さん、てんぷら鍋で家まで揚げていませんか？

# ハイブリッド車研修を実施 HYBRID

近年飛躍的に普及が進んでいるハイブリッド車の研修会を、メーカー担当者を講師に招き実施しました。

研修会では、ハイブリッド車の基本構造や電気システムについて学んだあと、実際の車両を使って安全な取り扱いについての説明を受けました。

ハイブリッド車には高圧電流部分があるため、構造上の安全対策は採られていること・救助の際は安全のために耐電手袋で作業したほうがよいなどといったアドバイスをいただき、現場での活動手順などを確認しました。



安全な作業手順について、実際のハイブリッド車を使って説明を受けました。

# ヘリコプターでの救急搬送開始 県防災ヘリ

10月1日から鹿児島県消防防災ヘリコプターによる鹿児島県本土内の救急搬送が正式に開始されます。

この防災ヘリの運航は、重症患者の病院間の転院搬送や、救急現場での重症傷病者発生時に行われ、医師等の要請で行われます。

これらの運航に伴い、現在、さつま町には緊急運航の際の離着陸場が3ヶ所（新たに1ヶ所追加予定）登録されています。（※右地図参照）

ヘリコプターが離着陸する場合には、消防車で事前に広報し警戒にあたりますが、かなり強い風圧が予想されますので、付近住民の皆さんは十分ご注意ください。

なお防災ヘリは、枕崎空港の「鹿児島県防災航空センター」から飛行いたします。

## 町内の離着陸場の位置



# 初期消火と水難救助で表彰状 見事な連携

今年7月に発生した建物火災と水難事故において、見事な連携で被害を最小限に抑えた4の方に表彰状を贈呈しました。

市来さんご兄弟は、隣家で発生したてんぷら鍋による火災にいち早く気付くと消火器を使って消火。延焼を防ぎ被害を最小限に食い止められました。

また井川さんと吉祥庵さんは、川内川で溺れて流されている男性に気付くと連携して川舟で救助されました。

4人の方々の勇敢な行動に感謝します。ありがとうございました。



井川 充さん 市来 満秋さん  
吉祥庵 博實さん 市来 和徳さん

# シリーズ わがまちの消防団

## 二渡分団

※平成 21 年 4 月 1 日現在

分団長 祝迫 清

副分団長 山下 信夫 以下 26 名

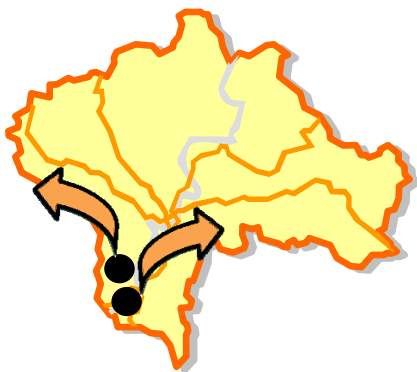
管轄～二渡区全域 (370 世帯 819 名)

二渡分団は、国道 267 号線川内川に架かる山崎大橋の西にあり、二渡区民 370 世帯の生命財産を守るべく、日々頑張っています。

団員は、大半が会社員ですが、昨年には消防災害支援隊も結成され、支援隊の皆さんと共に安心して住める安全な地域を目指しています。

また、地域の行事等にも積極的に参加し、地域の皆さんに信頼されるよう努力しています。

これからもご支援ご協力をお願いします。



## 山崎分団

※平成 21 年 4 月 1 日現在

分団長 稲留 末博

副分団長 末吉 和広 以下 20 名

管轄～山崎区全域 (350 世帯 785 名)

山崎分団は、日々の活動を通じ防災意識を高め、地域の皆さんと一緒に予防消防に取り組んでいきます。今年は、山崎区をサテライト会場とした水防演習避難訓練が行われたことで、地区の皆さんの防災意識も高まったと思います。

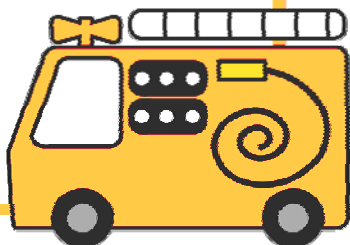
さて、来年は消防操法大会に出場することになっており、厳しい訓練を通じ、分団の結束を図っていききたいと思っています。

これからも、地域の皆さんに信頼される消防団を目標に頑張っていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 掲示板

**防ごう、新型インフルエンザ**  
新型インフルエンザは、まず予防が大切です。うがいや手洗いをきちんと行い、外出にはマスクなどを着用して予防に努めましょう。

**普通救命講習募集中**  
いざというときのために救急講習を受講しておきましょう。講習の時間・場所は問いません。いつでもご連絡ください。  
● 救急係 ☎52-0119



消防署と合同潜水訓練  
さつま町には、全国的にも非常に珍しい消防団の水難救助隊（隊員 11 名）が組織されています。  
先ごろ、川内川神子橋下流において、消防署の水難救助隊（隊員 10 名）と合同で水難救助訓練を実施しました。  
ウエットスーツに身を包んだ隊員たちは、署の潜水隊員の指導の下、潜水基礎訓練を行い、併せて救助艇との連携を確認しました。



## 村田健一副士長

## 全国大会への軌跡



県大会で競技する村田副士長

ロープブリッジ渡過で、我が消防本部初となる全国大会出場を果たした、村田健一消防副士長（29歳）。

競技に取り組みだしたのは、5年前の24歳のとき。その当時は、消防本部の代表にすら選考されず悔しい思いをしていましたが、筋力トレーニングやフォームの改善など地道な努力を重ね、今年ついに鹿児島県1位となり、全国大会の切符を手に入れました。

8月20日に横浜市で開催された全国大会では、参加987名の全国の精鋭に臆することなく競技し、減点なしのパーフェクトな演技で見事入賞を勝ち取りました。



### 村田副士長のコメント

「緊張しましたが、精一杯競技することができました。この経験を災害現場等で活かしていきたいと思っています。」



全国大会で競技する村田副士長（左から2人目）

### ロープブリッジ渡過とは？

地上約7mに水平に張られた往復40mのロープを、往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過で渡り、その安全確実性と所要時間を競う競技です。

## 消防ほっと写真館



2009.05.10

薩摩川内市消防局水難救助隊と救出訓練を行いました。

【川内川水防演習】



2009.05.10

山崎地区の自主防災組織で、避難訓練が行われました。

【さつま町防災訓練】



2009.08.21

防災責任者としての知識を2日間に渡って学ばれました。

【防火管理者資格取得講習会】